

2015年

新春・旗開き

三門革新懇第9回総会

2015年1月18日 / みんなの会館



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、さらなる前進にむけてご活躍されていますこととお慶び申し上げます。

今日は、旗開きに先立ち「平和・民主・革新の日本をめざす三門の会」(三門革新懇)の第9回総会を行います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

プログラム

(旗開き&革新懇第9回総会)

- 1、開会 (司会)
- 2、主催者あいさつ 代表世話人を代表して(花田健吾・代表世話人)
- 3、来賓あいさつ
県革新懇 (氏平長親・県革新懇事務局長)
共産党 (森脇ひさき・県議会議員)
- 4、三門革新懇・2015年総会議案提案 (中島純男・事務長)
- 5、乾杯 (岡崎逸夫・代表世話人)
- 6、各分野からのあいさつ、決意、報告
共産党 (田中のぞみ市議会議員)
生健会 (大西幸一・県生健会会長) 革新懇 (岡山市革新懇 小林事務局長)
人権連 (花田真人・みかどの会事務局長)
ななくさ (田中英隆さん)
そのほかにも・・・
- 7、イベント
 - ① 新春の舞、コーラス
 - ② みかど青年劇団
 - ③ クイズ
- 8、閉会あいさつ (前谷万喜子・代表世話人)



三門革新懇第9回総会議案

1、情勢の特徴

2012年12月に再登場した安倍内閣は、「武器輸出3原則」を打ち捨ててまで進めようとする原発の海外輸出、特定秘密保護法の強行、集団的自衛権の行使容認の閣議決定、原発再稼働ありきの姿勢、医療や介護をはじめとした社会保障関連予算の削減と消費税率の引き上げ、水面下で秘密裏に進められている国の根幹にかかわるTPP交渉などを矢継ぎ早に行い、自民党の憲法改正草案に沿って、現憲法の死文化を進めています。

我が国における労働者のうち、特に若年労働者の実態をみると、20歳代から40歳代までの若年労働者の40%以上が不安定雇用・非正規雇用という形態の下で働かざるを得ない状態に置かれています。格差拡大と貧困は改善されることなく、いまま大きな課題となっています。

また、一極集中の課題や地方再生をうたい文句にした市町村合併とその先にある道州制問題は、「限界集落」問題を更に複雑にした上で、加速化させています。

こうした問題が進行している中で、安倍内閣が推し進める「戦争できる国づくり」が国民の反対の声に真摯に耳を傾けることなく、数の力で進められています。

一方、こうした悪政と闘う国民の側の運動も全国各地で広がっています。九条の会の取り組みや、首相官邸・国会前・街頭で行われている課題別の反対行動も「危険」を感じた国民の怒りと不安の声に他なりません。

昨年末、安倍政権の金権体質やアベノミクス経済の破たんがより露わにならないうちにとという党利党略による、衆院解散と総選挙が実施されました。結果、沖縄県の小選挙区で県内基地移設反対の「オール沖縄」勢力が推薦した4候補が、自民党の現職候補を打ち破って完全勝利しました。また、安倍政権の暴走、特に戦争できる国づくりに真っ向から反対し国民的共同を推進する日本共産党が大躍進したことも、地域から人権と民主主義、住民自治を求める国民にとっては大前進ととらえることができます。

2014年末発足した第3次安倍内閣。閣議決定した2015年度予算案は、大企業には法人税減税で大盤振る舞い、軍事費は3年連続増加で過去最高へ膨張させました。これと反対に介護、医療、年金、生活保護は大改悪を続け負担増と給付削減という痛みを次々と国民に押し付ける中身です。消費税率8%へ引き上げ後2年目となる予算の規模は過去最大9兆6千342億0千万円に達しましたが、税金の使い方が根本から間違っています。

典型が軍事費です。それまで抑制傾向だった軍事費を、13年度予算で増額に転じたことを皮切りに連続増額させ、15年度はついに過去最大4兆9千801億0千万円、14年度補正予算案の増額分を合わせると5兆円超に膨れあがります。調達する装備も垂直離着陸機V-22オスプレイなど海外侵攻能力を高めるものが目立ちます。「海外で戦争する国」づくりを狙う安倍政権の危険な決意を具体化したものです。

沖縄・辺野古の米軍新基地建設費を14年度当初予算比で80倍以上の1兆7千36億0千万円にしたことは、反対の世論を無視して、新基地建設に突き進もうという安倍政権の異常さを浮き彫りにしています。

軍拡と対照的に大規模に圧迫されるのは社会保障費です。生活保護費は、食費などの扶助費を中心に13年度から3年連続で7千40億0千万円減らされている最中ですが、15年度はこれに加え住宅扶助費と暖房代などの冬季加算も減額することを打ち出しました。住宅扶助は18年度まで1千90億0千万円も削減します。憲法25条が保障する生存権を具体化した「最後の安全網」の制度を、ここまで容赦なく切り裂く政権はかつて例がありません。

高齢者と家族の健康と安心を支える名目の介護保険の報酬も実質2回連続で削減したことは、特別養護老人ホーム経営などに深刻な打撃を与え、介護する人もされる人もますます苦境に追い込むものです。公的年金の削減が続いているのに、新たに「マクロ経済スライド」を発動して、年金額の抑制を強行しようとしています。貧困と格差が広がっているとき、それを是正するための「所得の再配分」が政府予算の本来の役割です。その

役割を投げ捨て、大企業向けの法人税減税を税率で2・51%も下げ、税金を1兆円以上も負けてやる安倍政権の姿勢は本末転倒というほかありません。

2015年は、戦後70年、被爆70年の大きな節目の年です。安倍政権下で憲法改憲の動向と真っ向から対峙していく国民的共同のとりくみが求められています。また、アベノミクス・構造改革による国民の暮らしの破壊に対してもスクラムを組んで阻止していくことが喫緊の課題となっています。

今年、「岡山県人権政策推進指針」の次期見直しにかかわり審議会で論議が重ねられます。私たちは、部落問題解決の到達点を踏まえて、分野別課題の中に「同和問題」にかかわる項を入れないように求めています。岡山市の「同和問題解決のための基本方針」廃止へのとりくみと合わせて、この分野での歴史の逆行をゆるさず、県民・市民の人権確立の根拠になるような指針を求めています。

全国的に問題視されているヘイトスピーチは、その元をただせば特定の右翼的政治家の人権を無視し存在を脅かす発言であり、そのことを指弾もせず放置していた政治やマスコミなどの責任は重大です。憲法の理念を踏まえた法的規制も含め、人権侵害を許さない立場での共同がこの場面でも求められています。

人権連の地域人権憲章は、自分の意思により自由に考え発信し行動できる地域社会、貧困や格差による困難を解消し、幸福に暮らせる地域社会、参加・協同による住民自治が確立された地域社会をめざしています。

三門地域革新懇のその任務としても、地域人権憲章の一つひとつ勝ち取る一年にしたいと思います。

2、三門革新懇の2014年のとりくみできたこと

2007年1月12日に、三門地域の住民運動の歴史と財産を今日的により発展させるために、「平和・民主・革新の日本をめざす三門の会」(三門革新懇)の組織に発展させました。三門革新懇結成から8年が経過し、今日を迎えています。

2014年1月12日に三門革新懇第8回総会を開催しました。住民の生活と福祉を守るための相談活動は、人権連の活動の一つとして、第1水曜日の午後7時から行われています。弁護士につながる数件の相談を始め、日常的な取り組みとなりました。幹事会は2回の開催にとどまりました。「朝ごはんを食べる会」が2012年3月以降開催されてきましたが現在は休止中。もっと参加しやすくみんなが協力できる体制を考えていきます。

公営住宅の空き室の活用にもつなげた政策づくりや、みんなの会館での年末餅つき、NPO地域人権みんなの会が運営する小規模多機能型居宅介護事業所「みんなの家ななくさ」「みんなの家だんだん」の運営への寄与なども積極的に取り組まれました。

消費税増税を中止させるための宣伝活動は、隔週の土曜日の朝8時から30分間、喫茶・ひまわり前で行われています。三門革新懇加盟の各団体も地域の各構成員と住民の要求実現にむけて奮闘しました。また、地域の町内会活動の民主的な運営などにも積極的に寄与してきました。

3、三門革新懇の2015年活動方針

みんなの会館を開設したのは2000年6月。今年は15年を迎えます。地域から人権と民主主義、住民自治の確立、そして平和を願う住民の声を国政と世界に届けるとりくみを有機的に結び付けて、住民生活をまもり発展させる諸活動を展開します。また、県議会、市議会の選挙が行われる年であり、住民の生活を守る政治を勝ち取るために奮闘します。

戦後70年の節目の年として、地域住民の声をあつめて、決して戦争をしない、させない決意を改めて表明できるとりくみを考えます。また、消費税の増税をゆるさない世論をさらに高めていきます。今年、この二つのとりくみを中心に置き、以下の内容を関連させてとりくみます。

(1) 住民の生活擁護のためのとりくみ

・生活相談活動を重視します。特に急激な雇用打ち切りなどの情勢に対応し、この問題で相談できる

体制づくりを行います。また、「みんなの会館」に気軽に相談に来られるよう、宣伝を強めます。

- ・福祉、医療、教育にかかわる課題で学習を展開します。
- ・消費税増税に反対し、公共料金など住民負担の軽減をもとめる諸活動を展開します。
- ・「みんなの家ななくさ」「みんなの家だんだん」との共同を強め、高齢者を守ります。
- ・「みんなの会館」が行う朝市のとりくみなどと共同します。
- ・岡山市の医療・福祉・介護の充実を求めてとりくみます。特に、国民健康保険料の値上げさせず払える金額にさせていくとりくみを強めます。
- ・東日本大震災の被災者への継続した支援活動、原発ゼロの社会に向けたとりくみを強めます。

(2) 地域の安全・安心を確立させるために

- ・危険箇所などを安全なものに変えていく提起と要求運動を展開します
- ・学校や町内会などと協力し、子どもにとって安全な地域の確立をめざします
- ・高齢者や障害者にとって住みよい地域環境をめざします。みんなの家ななくさ、だんだん、の取り組みに積極的な協力体制を
- ・公営住宅の空き家などを活用し、住宅や近隣に住む人々の安心・安全・交流の場となるように積極的な対応を行政に求めるとともに、受け入れる体制も準備します。
- ・「朝ご飯を食べる会」のとりくみを充実させていきます。朝7時から9時まで、みんなの会館で、炊き立てご飯とみそ汁をメインとします。参加費は200円です。

(3) 憲法改悪反対、平和の確立にむけたとりくみ

- ・憲法改悪反対、再び戦争への道を開くな、9条守れのとりくみを展開します
- ・特定秘密法案を撤廃させるためのとりくみを強めます。
- ・県、市段階の革新懇などが主催する、これらのとりくみに力をあわせます。

(4) 政治の革新と住民本位の市政、県政にむけたとりくみ

- ・住民が安心して暮らせる政治のあり方、政治の革新についての学習を展開します
- ・国政、県政、市政に地域住民の要求が反映できるようとりくみを展開します

(5) その他

- ・暮らしの相談員の養成に向けた学習会、青年が世界観を捉える一助になるような学習会を企画します。
- ・定期的な会議の開催とニュースとビラの発行、宣伝活動